



四国電友会会報

第 1 0 6 号

平成 11 年 4 月

目 次

NTTの動き	2
再編成の意義	2
NTTヤングエイド収益金を贈呈	2
ICテレホンカード登場	2
ICカード公衆電話機を設置	2
1チップLSIで指紋を認証	3
平成11年度の事業計画	3
西日本電信電話(株)のスタート時期等	3
お知らせ	4
支部総会のご案内	4
支部長・事務局長による打合せ会を開催	4
編集委員会を開催	4
第2回理事会を開催	4
団体傷害保険について	4
会組織の拡充について	4
年金情報	5
平成11年度のベアについて	5
高齢基礎年金について(その2)	5
健康のページ(あなどるなかれインフルエンザ)	6
人生さまざま・後半生を生きる	7
私は今	8
テルウェルだより	12
市長表彰を受賞	12
第3回OBボランティア交流会を開催	12
平成11年度退職者文化活動等行事のご案内	12
サークルだより(縁台クラブ)	14
ボランティア活動	14
俳句(高知)	15
敬弔・物故者叙位叙勲	15
表紙の言葉	15
編集後記	15

NTTの動き

再編成の意義

一つは、マルチメディア市場が発展・拡大しているなかで、従来とは異なる新しい事業開拓のための仕組みを実現するという意義です。NTTデータやNTTドコモをはじめとするグループ会社の全てが、持株会社の下で協力し合って、情報流通市場を開拓するというフォーメーション(編成)が実現できるわけです。もう一つは、NTTについて従来言われていた電話の独占性に起因する規制について、東、西地域会社に集約する形として整理したという意義です。東、西の地域会社は規制対象の特殊法人ですが、長距離会社は規制対象外の民間会社となり、国際通信事業もを行います。

また、NTTの再編成を機に、全国11カ所にあった支社を廃止し、各県の支店を東、西地域会社の本社と直結させます。これにより支店は、本社と直接、情報交換することができ、市場・お客様のニーズの変化に機敏に対応することが可能となります。

これまで支社のあった都市では、影響もあろうかと思いますが、新しい市場と時代に積極的に対応しようとしているNTTについて、ご理解を賜りたいと存じます。

▽宮津代表取締役社長の「年頭ご挨拶」より、一部抜粋させて頂きました。

「NTTヤングエイド」収益金を贈呈
1月12日、98年度のNTTヤングエイドに

おける収益金を、(財)日本フォスター・プラン協会に贈呈しました。

NTTヤングエイドとは、NTTの若手社員を中心に、毎年、全国各地で開催しているチャリティイベントのことで、86年に活動を開始し、今回で13回目となります。

このチャリティイベントでは、「アジア・アフリカの子供達のために」をスローガンにNTT及びNTTグループ社員から提供されたチャリティグッズの販売や、募金活動等を行っています。

今年度の収益金は、約2千300万円です。今回、そのうちの約1千640万円を、(財)日本フォスター・プラン協会に贈呈しました。NTTは、再編成後も、東、西地域会社を中心に、社会貢献活動の重要な施策として、NTTヤングエイドに取り組んで行きます。

▽(財)フォスター・プラン協会について

・国連に公認・登録された特定の宗教・政治に関係のない、民間で非営利の国際援助機関(NGO)、フォスター・プランの日本における財団法人です。
・OBの中には、フォスターペアレントとなり、フォスターチャイルドへの支援活動を続けておられる方もあります。

ICテレホンカード登場

ICテレホンカードには、カードの中にデータを記憶するICチップと通信を行うためのアンテナが内蔵されていて、ICカード公衆電話機と、電波により情報のやりとりを行うことができる「非接触式ICカード」が採用されています。

このカードは、現行の磁気テレホンカードと同様、使いきりのプリペイド方式で、外形サイズや材質も同じですが、厚さは約2倍になります。また、セキュリティのバージョンアップ等に対応させるため、有効期限を設定した、1千円券、2千円券、3千円券の3種類のカードが発売される予定です。

新しい機能としては、電話帳機能を付加するほか、使用開始時にカードの端を切り離してから使用することや、電話機への挿入に際して、挿入方向や裏表に制約がないといった特徴を備えています。

なお、ICテレホンカードの採用により、カード一枚毎の情報を管理することができるよう、変造カード問題を抜本的に解消することが可能となり、高額カードの発行、国際通話へのカード利用再開といった問題(利用規制)が、解除できることとなります。

ICカード公衆電話機を設置

ICカード公衆電話機は、現在のデジタル公衆電話機と同様、ISDN回線に接続されます。大きさは、最新のデジタル公衆電話機に比べて、更に小型化・薄型化が進み、赤外線通信機能の標準装備、電話機のダイヤルボタンへのカナ・アルファベット併記等の特徴があります。

また、「非接触式ICカード」の採用により、カードを電話機の中に取り込む必要がなくなるため、これまで、電話機故障の大半を占めていたリダ・ライタの故障が減少し、利用者の利便性の向上に役立っています。

3月から東京近郊及び関西の主要駅、主要空港、ホテル等にICカード専用機を1千台程度設置し、本年度の第2四半期以降、カー

ド・硬貨併用機を含めて、全国に拡大して行く予定で

具体的な設置の進め方としては、磁気テレホンカードを使用する際に、ICカード公衆電話機しか見当たらないという状況が起らないよう、複数の公衆電話機が並んでいるところの一部から、徐々にICカード公衆電話機に切り換えて行くことになっていきます。

なお、ICテレホンカードの販売は、全国のNTT支店・営業所窓口で販売するほか、ICカード公衆電話機の設置に合わせ、周辺のICテレホンカード取扱代理店、カード自販機により販売することになっています。

1チップLSIで指紋を認証

NTTは、指紋の読み取りから本人の確認までを、1つのLSIチップで実現する「1チップ指紋認証センサLSI」を開発しました。

従来、別々の部品だったセンサとLSIを一体化したことにより、厚さ0.5mmと薄型化に成功し、モバイル端末に最適な指紋認証装置を実現しました。

「1チップ指紋認証センサLSI」は、利用者があらかじめ登録された持ち主の指紋と照らし合わせて、本人か否かを判別することが可能な認証装置です。

このLSIをノートパソコンや携帯情報端末のセキュリティ装置として利用した場合、本人以外が機器を使用することは不可能となり、盗難や紛失の際の第三者による端末内の情報の悪用を防ぐことができます。

NTTでは、今後も認証率の向上やアルゴリズム（問題を解くための定められた一連の手続き）の最適化等の研究を継続するとともに、

に、本技術を利用した次世代のICカードや情報端末の開発に向けた研究を進めて行く予定です。

平成11年度の事業計画

NTTは、2月26日、平成11年度の事業計画を、郵政大臣に認可申請しました。

長距離、国際、移動体、地域通信の各分野で本格的な競争時代を迎えるなかで、新体制への移行によって、将来にわたって安定した事業の展開を期するとともに、次世代インフラ（経済基盤）構築に向けた研究開発も一層進め、マルチメディアに対する高いニーズに対応して行くことになっています。

収支計画は、収益が6兆1千160億円、費用が5兆9千9億9千円、経常利益は2千160億円（平成10年度見込みに対し、26・3%減）を見込んでいます。

収益については、ISDNやOCN、高速デジタル、フレームリレーといった情報流通系ネットワークサービスの収入の増加があるものの、景気の低迷や移動系ネットワークの拡大、競争の激化等により、平成10年度見込みに対して、総収益は1千810億円の減収となります。

費用については、業務の効率化及び投資関連費用の削減等、費用全般の圧縮に努めることにより、総費用は1千040億円の減となります。

これにより、平成11年度の経常利益は2千160億円となり、770億円の減益を計画したことになります。

建設計画については、需要の即応に向けたアクセス網の光化や、効率的なネットワークの構築に向けた研究開発に積極的に取り組む

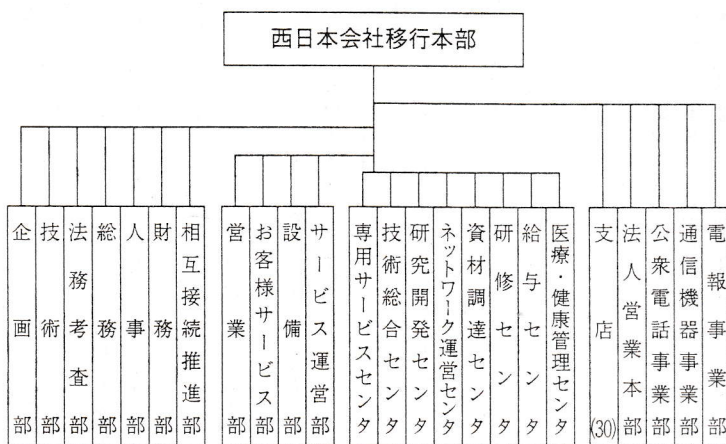
ますが、電話加入数やトラヒック需要の減に伴い、総額では1兆5千200億円を計画しています。

なお、本計画は、再編成の時期・内容等が確定し次第、変更を行う予定です。

西日本電信電話(株)のスタート時期等

NTTは、7月1日午前0時をもって、西日本電信電話(株)へ営業の譲渡を行う予定です。予想人員数は6万7千500人程度（四国は4千人規模？）になります。また、組織は左図が引き継がれる予定です。

組 織 図



お知らせ

支部総会のご案内

支部の総会は、次により開催します。多数ご出席下さいますよう、ご案内致します。

- ・愛媛県支部 5月20日(木)
- ・愛媛県民文化会館 午前10時から
- ・香川県支部 5月21日(金)
- ・玉藻公園内披雲閣 午前10時から
- ・徳島県支部 5月14日(金)
- ・徳島厚生年金会館 午後2時から
- ・高知県支部 5月15日(土)
- ・NTTプラザ高知 午後3時から

支部長・事務局長による打合せ会を開催

12月2日、各県支部長、事務局長による打合せ会を番町会館に於いて開催し、NTTの組織再編成に伴う諸問題等について意見交換を行い、支社が廃止された後も、電友会としては現組織体制を維持し、NTTに対する有形、無形の貢献増大を前提として、従来を上回る支援の継続を申し入れること等を、話し合いました。

編集委員会を開催

2月9日、NTTプラザ松山に於いて、第7回編集委員会を開催し、芳野(愛媛)、資延(香川)、安芸(徳島)、窪田(高知)の各編集委員、穴吹編集委員長、西本本部長、松本及び愛原の両事務局長が出席して、平成11年度の会報発行方針等について打合せを行い、限られたページを有効に使用して充実した誌面をお届けすること等について、検討しました。

第2回理事会を開催

3月24日、第2回理事会をNTTプラザ松山に於いて開催し、第28回総会提出議案等について審議するとともに、四国地方本部の総会(四国支社が廃止された後の最初の総会になる)の運営方法等について、意見交換を行いました。代議員(53名)による四国地方本部の第28回総会は、4月22日、NTTプラザ松山で開催します。

団体傷害保険について

・前回、電友会団体傷害保険のご案内を致しましたが、3月11日現在、484件(愛媛218、香川134、徳島43、高知89)の加入申込みが出ています。前年度が403件ですので、年々申込者は増えています。

・4月1日の午後4時から来年4月1日の午後4時までが、保険期間となっておりますが、証書がお手元に届く(5月頃)までの間は、「払込票兼受領証」が控えになります。大切に保管しておいて下さい。

・毎年、2月末日を〆切日として、ご案内しております。まさかのケガ(国内、国外を問わず、全ての傷害事故が対象となる)にお備え下さい。年齢に関係なく、ご家族で加入できることになっていきます。

▽お問い合わせは、安田火災愛媛支店へ。

☎089-943-1299

会組織の拡充について

新入会員を迎える季節がやってきました。会員の皆様に、電友会組織の現状をお伝えして、組織率の向上を図り、会組織の拡充・発展に努めたいと考えます。皆様方のご協力をお願い致します。

▽会員数

全国では8万8千904名、四国では4千223名(全国比4.8%)です。また、四国内訳は、愛媛1千755名、香川1千038名、徳島651名、高知779名となっています。

▽退職者数(年金受給者数)

全国では15万2千769名、四国では7千066名(全国比4.6%)です。また、四国内訳は、愛媛2千860名、香川1千662名、徳島1千190名、高知1千354名となっています。

▽組織率

会員数を退職者数で除し、100を乗じて表すと、全国では58.2%、四国では59.8%になります。また、四国内訳は、愛媛61.4%、香川62.5%、徳島54.7%、高知57.5%となります。

▽男女別会員数(四国)

男性会員が3千004名(愛媛1千471、香川664、徳島423、高知446)で、女性会員が1千219名(愛媛284、香川374、徳島228、高知333)です。

▽男女別退職者数(四国)

男性が3千988名(愛媛1千914、香川875、徳島574、高知625)で、女性が3千078名(愛媛946、香川787、徳島616、高知729)です。

▽男女別組織率(四国)

男性が75.3%(愛媛76.9%、香川75.9%、徳島73.7%、高知71.4%)で、女性が39.6%(愛媛30.0%、香川47.5%、徳島37.0%、高知45.7%)です。

(数値は全て、平成10年12月末のものです)

年金情報

平成11年度のベアについて

年金額改定通知書が気になる季節になりましたが、平成11年度の物価スライド分による改定額は、0・6%になっています。

地方公務員等共済組合法の年金額改定に関する政令(3月26日)を参考にして、ベアの動きを考えてみますと、俸給(標準報酬月額)はそのままで、単純に、1・031(平成7年度分0・7%+平成10年度分1・8%+平成11年度分0・6%)を乗じることにより、ベア分を算出することになっています。

これは、俸給を平成6年10月時点のままとし(賃金スライド分を据え置いたまま)、以後の物価スライド分だけを引き上げるといったやり方を示しています。賃金スライド分については、政府内で調整が行われているものと考えますが、停止することなく、実施して欲しいと願う次第です。

老齢基礎年金について(その2)

前回、配偶者が65歳になった場合の手続き等を話題にしましたが、この度は、年金受給者本人が65歳になった場合について、考えてみたいと思います。

なお、前回の話題に関連してお電話等を頂きましたが、昭和61年4月以降に退職された方でない、加給年金等が問題になることはありませんので、宜しく願います。

また、今回もそういうことで、昭和61年4月以降に退職された方を対象にしておりますことを、お断りしておきます。年金受給者が65

歳になりますと、誕生月の初め頃に、社会保険業務センタから「老齢(退職)給付裁定請求書」が郵送されてきますので、誕生月の末日までに必要事項を記入し、社会保険業務センタへ返送して下さい。

この請求書を提出することにより、65歳からの本来支給の退職共済年金及び老齢基礎年金が決定されることとなります。

そこで、昨年の10月、この手続きをされたY氏の2通の証書について、少し考えてみたいと思います。

最初に、11月9日に発送された「共済年金証書」を見てみましょう。年金額は、①経過的加算、②報酬比例額、③職域加算額の3つを合計した額となっています。

〈経過的加算〉
これまでの定額部分額から、79万9千500円(老齢基礎年金の年金額)に336(昭和36年4月から退職時までの月数)÷384(昭和36年4月から60歳になるまでの月数)を乗じて得た69万562円を、差し引いた残りの額となります。

〈報酬比例額〉
これまでの報酬比例額に同じ。

〈職域加算額〉
これまでの職域加算額に同じ。

以上でお分かり頂けると思いますが、かいつまんで言えば、保険料を納めた期間(336月)に相当する年金額が、定額部分額から差し引かれるということです。

そこで、11月12日に発送された「国民年金・厚生年金保険年金証書」を見てみますと、国民年金裁定通知書の老齢基礎年金の項目に、69万9千600円(百円未満四捨五入)とあります。

今説明しましたように、「共済年金証書」から抜け落ちた金額が、老齢基礎年金に振り替わっただけのことです。(年金受給権者現況届は、2通出すことになる)

前回、小さい分母で除すメリットのことを書きましたが、Y氏の場合、加入可能月数が384月ですから、退職後60歳になるまでの4年間(48月)、国民年金に加入していたとしますと、先の「国民年金・厚生年金保険年金証書」には、79万9千500円と記載されていたはずで、定額部分額から差し引かれる金額は同じでも、約10万円、老齢基礎年金は上積みされていたと思います。(4年間の保険料は、凡そ60万円?)

勿論、再就職して厚生年金保険の被保険者になっていれば、問題ありませんが・・・。(この場合、厚生年金保険の定額部分額の一部が老齢基礎年金に振り替わって、補填されることになる)

さて、最近退職される方には関係のない話になりますが、支給繰上り年金額を貰っている方について、少し説明を加えておきます。

先ず減額の方法ですが、通常は、定額部分額、報酬比例額、職域加算額を合計した基礎額計に、1歳繰り上げた場合ですと4%減額ですから、96・0/1000を乗じて算出することになっています。

しかし、65歳になって「共済年金証書」を手に入ると、報酬比例額、職域加算額を合計した値に0・9317806(Y氏の場合4%減)を乗じて得た額と、経過的加算を足して支給繰上り年金額としているため、減額分は変わりないのですが、分かりにくいといった問題が生じています。もう一度、証書を見て頂いたらと思います。(愛原)

健康のページ

あなどるなかれインフルエンザ
予防接種のすすめ

NTT愛媛健康管理センタ所長

宮川 直子



桜の花が咲く時期にインフルエンザの話をするのは恐縮ですが、この冬NTT社員の間にも随分とインフルエンザが流行いたしました。

出ない剛健な社員の方が、3、4日続く高熱にダウンされました。

電友会の皆さんにも、インフルエンザで辛い思いをされた方がおられるのではないかと思います。

勿論、皆さん、既に回復され、お元気になっておられるかと思いますが、マスクなどで報道された様に、高齢者では肺炎や、脱水などを併発し、死亡例も多く出ました。

また、命には別状なくとも、インフルエンザに罹患したことにより、長期間の臥床を余儀なくされ、以後寝たきりになる高齢者も決して少なくありません。

日本では、インフルエンザワクチンの接種率は、ここ5年間くらいの間に激減しております。特に、学校で接種しなくなつてからは、成人や高齢者の接種率が激減しています。

そこで、今回は電友会の皆さんに、インフルエンザワクチンについてご説明し、予防接種をお奨めしようかと思ひます。

インフルエンザは、毎年、抗原が少しずつ変化します。そのため、ワクチンを接種しても、無効だと思つている方も多いようですが、決してそんなことはありません。

インフルエンザウイルスが、鼻や喉の粘膜で増加した後は血液中にも増え、全身にばらまかれますが、何がしかの抗体がワクチン接種で出来ていれば、全身症状が軽くてすむのです。

実際に、特別養護老人ホームでワクチン接種の効果を調べると、次表のように、ワクチン接種者は、非接種者に比べ、発症率も半分以上であるし、発症しても軽症であることが明らかです。(東京都老人医療センタ、稲松医師による)

インフルエンザ流行特別養護老人ホームにおけるワクチン	養護老人ホーム	
	ワクチン(+)	ワクチン(-)
例数	16	84
発症	4(25.0%)	49(58.3%)
≥39℃	0(0%)	12(24.5%)
≥38℃	0(0%)	26(53.1%)
≥37℃	2(50.0%)	10(20.4%)
<37℃	2(50.0%)	1(2.0%)
死亡	0(0%)	4(8.1%)
非発症	12(75.0%)	35(41.7%)

接種方法ですが、大体インフルエンザの流行する前、11月から12月の間に1、4週間あけて2回受けるのがベストですが、1回だけの接種でも何がしかの抗体が出来ますので、

有効です。

副反応も少なく、安全性の高いワクチンですので、是非皆さん、今年の11月頃には、接種を受けてみられてはいかがでしょう。勿論、NTT病院でも受け付けています。但し、全額自己負担(1回4千200円)となります。

(11ページより)

の速さ、通信事業のめまぐるしい変革にも驚いています。

会報では、懐かしい方のお便りや情報に接して、自分の年をつくづく感じるこの頃ですが、「自分のしたいことをする」をモットーに、元気に遊んでいます。

◆ 石川千代子 (多度津町)

平成元年の退職なので、新年を迎える度に退職して何年目になるのだと驚いているこの頃でございます。お蔭様で健康にも恵まれます。特養ホームのおむつたみ、青少年補導員としては、町内の巡回、それに食改推進員等々と。地域への奉仕活動に追われる毎日ですが、月1回は、現役時代からの亀語会で、懐かしい先輩や同僚達と語のお稽古をする一時を、楽しみながら過ごしております。

▽次の方は、次号とさせて頂きます。原稿をお寄せ下さいました皆様に、厚くお礼を申し上げます。

- 川村陽惟様 田岡博子様 撰津スミ子様
- 武口忠弘様 田中福市様 田中光雄様
- 森 常夫様

ドキュメント

人生さまざま・後半生を生きる

老遍路の手記

ここに「ひとりへんろ」と題する300余頁の手記がある。Mさんが八十八カ所の遍路旅で綴った記録である。遍路体験記には、小林淳宏の「定年からは同行二人」など数多くの書籍があるが、Mさんの「ひとりへんろ」は、克明な描写の点では比肩できる類書が見当たらない。全く異色の道中記と評しても差し支えない代物であろう。さながらビデオを眺める思いのした読後感である。

適当な頁を開いて抄録してみる。

「平成8年3月11日、(7時12分) 本堂、大師堂に出発の礼拝をして八番へ向かう。風は冷たく、体が冷える。マフラーを出して首に巻こうかと思うが、こころが修行、辛抱辛抱。(7時30分) 七番への別れの道。(7時56分) 御所小学校前、登校の児童と朝のあいさつ、体すこし温まった・・・」

如何だろうか。一瞥しただけで、「ユニーク」と私が称える意味をご理解頂けるのではなからうか。読み始めると、巻を措くことができず、Mさんに躓いて遍路になっているような錯覚に浸った。

76歳になって、「ひとりへんろ」と聞かされた、多少尻込む思いがすると思うが、それを敢えて発心したのは、それなりの動機があったようだ。Mさんの札所巡りは、勿論初めてではない。退職後、老妻とマイカーで2回ほど四国を一周している。電電公社在職中にも、出張や転勤などで断片的に寺回りをさ

れていたはずだし、土地勘はある程度ある。数年前、愛妻が逝かれた。これが引き金となり、菩提を弔うために位牌を携えて、団体バスで巡礼を試みたが、一巡したもののどこか満足できない。歩いての参拝こそが、妻への真の回向ではないかと思うようになった。

思い立つと、矢も楯もたまらない性分だ。年寄りの冷水にならないよう、無理のない綿密な「歩く計画」を練り始めた。思案の挙げ句、一気呵成に歩き通すことを断念。時期を春秋に限定、しかも4泊5日乃至7泊8日の細切れの旅。そして完全踏破を最大の目標とした。

準備万端は整ったが、それでも不安は拭いきれなかった。後は「亡き妻が見守ってくれるだろう」と、念じて意を決した。

平成8年3月9日、松山からJR予讃線、高德線と乗り継ぎ一番札所近くで投宿。4泊5日をかけて十二番まで歩いた。ここで一旦打ち止め、帰宅することにした。4月27日再出発。前回の打ち止め場所へ。このように時間をかけて、念入りに体調を整えながら、平成10年3月までの2年がかりで、見事に歩く遍路を遂行したのである。

手記の中でMさんは、随所で短歌を詠んでいる。全行程で百八首を数えるが、煩惱に合致した数値に限定しているところが憎い。その中で目についた二首を紹介しておく。

手を合わせこちらを拝む老女あり
我を導く大師を見しか

菅笠の破れし下に日焼け顔

日本語うまきオランダの青年

これまで私が涉獵した遍路の手記での共通した傾向は、道中の心の動揺が足摺岬にさしかかる頃、発生することである。旅の疲労と

緊張の中弛みの所為らしいが、Mさんのような中断の遍路にも例外ではないようだ。

三十八番金剛寺で記されたメモには、「よくもここまで歩いて来ることが出来たもんだ。歩きの道中で、なぜこんなしんどい事を始めたんだ、車で巡拝すれば楽なものを・・・。中止して帰ろうか・・・、色々心の葛藤があった」とある。

読んでいて、つい「そうだろう」と思ったくなるくだりである。「歩き」には、道中で車に乗らないかと誘われることが多いようだ。大願成就のためには「歩きです。有り難う」と断る。

数えて見ると20回程、この誘いが寄せられている。また、遍路にはお接待がつきもの。金額にして10円から千円まで、金子に限らず現物では、飴、ドリンク、パン、弁当等、い

いずれも人の善意の表れで、これが数えて30数回に及んでいる。いずれもさんや袋に入れてもらい、「南無大師遍照金剛」を3回唱えて礼を表す。人心の荒廃を嘆く昨今だが、いまだ地に落ちずの感を噛みしめた次第。

今日は我が七十八の誕生日
巡拝の旅も上がりとなりぬ

1200年に及ぶMさんの遍路の短歌で、殿に詠まれた一首である。本年で79歳。次の歩く計画を考えているというから、驚きである。80歳を記念して、念願の「奥の細道」の踏破という冒険である。今年はその準備期間として、情報の収集に忙しいようだ。何時の日か、「奥の細道」の紀行を拝読させて頂けるのが楽しみである。祈ご健脚。

(穴吹編集委員長 記)

私は今

◇ 江口 浩 (徳島市)

松山からこちらに引き上げて、2年目になります。何とか無事に過ごしています。

毎日の散歩と図書館通いは相変わらず。TVを見る時間が長くなって、新人タレント達の名前も覚ええました。マスコミ報道が氾濫する中、情報の真偽を見分ける選球眼も必要ですね。ボケ防止には、心の健康が大事で、頭の働きを柔らかくするため、若い人と話をするように心掛けています。21世紀も、伸びやかに生き続けたいものです。

◇ 小川 貞夫 (高知市)

退職後、間もなく9年が過ぎようとしています。東電通へ入社後、一時退職して、再び東電通でお世話になり、単契約の局内試験の仕事をしています。

お陰で余り病気もせず、土、日の休みにはねこの額の畑を借りて、夫婦で無農薬野菜を作っています。他に、週1回の社交ダンス、日曜大工、演歌の編集等、仕事と趣味で忙しい毎日を過ごしています。

後1年位で仕事は辞めて、夫婦でのんびり旅行等してみたいなと思うこの頃です。

◇ 越智 恒夫 (松山市)

昭和60年、経営企画本部を最後に退職。初代社長命で、某社提案企画書により新規事業を起業。先方は、社長も金も人も口も大いに出す代わり、仕事は一切当方へ期待。巨象に挑むハイエナよろしく、敵の作戦は的中。某社株価は一挙に急上昇、その後の急成長に寄

与。当方は悪戦苦闘。

N社に撤退を具申するも、メンツに拘り、昨年未ようやく終戦処理。中途リタイヤで後味は悪かったが、今でも時々悪夢を見て冷や汗三斗。新規事業は難しい。

◇ 大西ハルミ (徳島市)

春とは名ばかりで、身を切るような寒さが今日も続きます。

退職して20年。目まぐるしく、息をつく間もなかった毎日が、昨日の様に思えますが、月日の経つのは早いものです。

24時間全部が自分の時間になって、忙しかった頃、自分の時間ができたら、あれも、これもしようと思っていたのに、ただ時間だけが過ぎて行きます。

健康に恵まれ、何一つ不足のない日々が送れることを感謝しながら・・・。

◇ 大野 良子 (高知市)

毎日が日曜日になって5年。悠々自適で品性豊かな余生をと思っておりましたが、悲しい性癖は改まらず、現場のお手伝いや手編み教室、水泳教室等に挑戦して、時には止まり木にも腰掛けたりと、一期一会をいとおしみながら、それなりに多忙な日々です。

ところが少し前、3人目の孫を世話している内に足首を痛め、悪性の風邪も重なったので、1ヵ月程おとなしくしておりました。でも、春一番と共に再起?を計っておりまして。また、お声を掛けて下さい。

◇ 北川 薫 (高松市)

テルウェル等のお世話になって、退職後、早11年になります。

毎日肥満に気を使い、食事やら朝の運動に精を出して?いますが、三日坊主で、85キロから低下しないため、ガツカリしています。

私も今年70歳で、古希を迎えようとしています。後5年位は何とか頑張りたいと思っています。

◇ 栗田 明 (松山市)

先日、小学校の同窓会の準備をしたら、生存者が半数以下であった。戦死者も多数あったが、傘寿を迎える今年、元気ではあるが、脊椎の軟骨が硬化して、右足、左手が痛く、整形外科に6年目の通院をしている。

退職後はサツキに夢中になり、大きく立派にはなったが、それに反比例して自身の体力が弱り、鉢の移動や植え替えが面倒なので、全部他人に譲り、今は菊やユリ等の花物に手を出して、近隣の人を楽しませている。

◇ 桑原 齋 (鴨島町)

天命には逆らえず、寿命がある。およそ金のことと言わぬ様になれば、終着駅が近い。若さと健康を保とうとするなら、色気と恋をしなさいと知人から教えられた。金にも恋にも縁がないが、お蔭様で元気である。

野菜は自給自足。退屈紛れに近くの川によく釣りに行っている。また、毎年4月頃に、一泊旅行をかねた小学校の同窓会を世話しているが、年毎に参加者が少なくなり、一抹の寂しさを感じている。今年もと思い検討はしているのだが・・・。

◇ 小松原孝夫 (高松市)

退職して早15年近くなり、月日の経つことの速さに驚いています。

その間、様々なことがありましたが、とりわけ身近な人達が黄泉へと旅立たれたことに、寂しさを感じています。そういう私も、3年位前に交通事故で、天国行きの切符を手にする寸前まで行きました。

「憎まれっ子世に憚る」の譬えの通りで、今では、グランドゴルフや将棋に興じていますが、底冷えがする冬の朝は、骨折した所が痛みます。「身から出た錆」と思っています。

◇ 坂田 和 (徳島市)

退職して8年目を迎えようとしています。平成4年7月から、共済会の仕事をさせて貰っていますが、早いもので、もう6年余りになりました。

仕事をするのは、健康が一番です。私はその健康維持のために、健康マラソンをしています。現職の時に始めたので、かれこれ20年余り走っています。それを距離にすると、2万432歩も走ったことになりました。まだまだ元気な間は走ります。

◇ 佐野 正義 (高松市)

退職後15年が過ぎようとしています。光陰矢の如し、誠に早いものです。

現役を退いて5年有余、共済会のお世話により、NTT香川の資材出納・配給業務を解散までお手伝いしました。その後、趣味の盆栽と庭木の手入れに専念しようと思ひ、造園技能士、庭園管理士等の資格を取得し、OB数人の作業グループで頑張っています。

また、作業の余暇には、友人同士で海釣り(船釣り)や短期旅行も楽しんでいきます。昨年8月には、富士登山もしました。皆さん健康で頑張ってください。

◇ 澤田 啓 (高知市)

早いもので退職して5年になります。会員消息欄を見て、NTT時代を懐かしく思い出します。

現在は、趣味(創作、洋画)や町内会のお手伝いなどで、元気に過ごしています。早朝散歩の後、午前中はワープロに向かい原稿を書きます。また、高新文化教室では油絵を習っています。先週、高新での発表会に出展しました。

健康に恵まれ、趣味に没頭できるお陰で、毎日が忙しく、それなりに充実した日々を過ごしています。

◇ 重川 邦夫 (松山市)

退職後10数年、第2の職場で5年程お世話になりました。

その後、義母、妻、兄と矢継ぎ早に不幸が重なったためか、狭心症を起こしましたが、比較的軽度で済んだため、一安心しております。

現在は、体調も安定しておりますので、毎日散歩をしたり、小旅行(年に2、3回)をして、健康の維持に努めています。

◇ 柴坂 信子 (国分寺町)

心の支えの夫を亡くして、失意の中で始めた卓球も、早9年。週2回の練習と年3回の大会にも参加して、爽やかな汗を流しています。また、ボケ防止には、カラオケと木目込人形作り。四苦八苦しながらも、完成した時には大きな喜びに浸り、町の文化祭には作品を出し、褒めて頂いた時には、何ともいえない嬉しさがこみ上げて、やっけてよかったです。と思う昨今です。

これからも健康第一で、充実した第2の人生を、楽しみながら頑張ってください。

◇ 清水 健市 (香川町)

私は第2の人生で、香川電友会の事務局長を7年、同副会長を9年(四国支部の理事を兼務)務めており、お陰で今日まで元気にしてこれましたし、お世話できたことで沢山の知人が出来ました。これは、私にとってかけがえない一番の財産です。

これからは、囲碁、園芸、歩く会等、各種サークルに積極的に参加して、仲間と共に楽しい人生を過ごしたいと思っています。

また、今日まで果たし得なかった国内の名所、旧跡等も旅してみたいと、夢を描いているこの頃です。

◇ 杉本 嘉香 (大豊町)

早いもので退職して9年になります。お蔭で、元気に毎日を過ごしております。

4年前より主人の実家(田舎)へ帰り、豊かな自然の中で無農薬野菜を作りながら、痴呆症の姑(87歳)の介護をしております。

ボケ防止に、大正琴とフォークダンス(月2回)を楽しんでいます。昨年はヘルパー3級を受講しました。これからも、くよくよしないで、前向きな心で日々元気に過ごしたいと思っております。

皆様のご健康をお祈りします。

◇ 田井 信明 (松山市)

「光陰矢の如し」の思ひは、加齢と共に早まり、過ぎ去った人生を追憶することもありますが、余生はプラス思考でと、妻を連れて景観や歴史を訪ねての気儘な旅を定番とし、

一方では気楽な講座通いの常連となり、新しい友もできて、食事を共にしながら世相を話題に談論風発、大笑いしてストレスを解消！遊びに切れ目がないうよう、日々好日を心掛けています。

今春から孫達の進学の都合で、三世代同居になり、セカンドライフも静から動へと様変わりしそうです。

◇ 高尾 廣 (高松市)

現役時代の飲み過ぎがたたって糖尿病が悪化し、20日余りの入院生活で6割程痩せ、朝と夜の各40分の速歩が日課になっています。私の夜のコースは一寸変わっていて、昔飲み歩いた「飲み屋街」を通り、当時は懐かしみながら歩いています。やはり不況のためか、昔程の活気はないようです。

40歳前位から、釣りキチ(チヌ釣り)を自認していた私が、今は、毎日、近所の図書館で新聞や雑誌を読んだり、これまた近所のパソコン店に行ったりして、ボケ防止を心掛けております。

◇ 高木 輝夫 (松山市)

退職して15年の月日が流れたが、その間、何をしてきたか？平穩無事に過ごせて、幸せなことと思っている。

昨年10月から、電友会のパソコン勉強室に、毎週通っている。70の手習いで悪銭苦闘しながら、参考書と首っ引きで習熟に努めているが、先生方に毎度ご苦労をおかけしているのが実情。その内に何とかなるだろう？殆ど同時期に、県の高齢者大学を卒業し、OBとして社交ダンス部に入り、若い女性？と毎週踊って、年を忘れ華と舞い、蝶となる！

◇ 谷本 良乃 (八幡浜市)

電友会の皆様、毎日寒い日が続いていますがお元気で過ごしてください。

今年、風邪やインフルエンザが猛威を振るい、私達高齢者がその対象となっていて、あちこちで暗いニュースとなっています。お互いに注意事項をよく守って、かからないようにしましょう。

何時も、皆様の充実した毎日の生活習慣を伺うにつけ、私は常に反省し、それにあやかりたいと思うこの頃です。

◇ 土居 壽 (高松市)

退職後14年を経て、過ぎし職場のこと、先輩・友人のこと等を、時々思い出しては、当時を懐かしんでいます。

現在は、家業の煙草店を引受け、何となく呑気に煙草屋店主を務めています。一時は体調を崩し心細くなりましたが、今では、元氣を取り戻し、健康の有り難さを実感している次第です。

時々通う図書館では、乱読ではありますが、楽しく読書に打ち込める時が持てることに、喜びを感じているこの頃です。

◇ 中野 善雄 (高松市)

退職して18年が経ちました。体調不良で55歳を待ちかねて辞めました。1、2年であり良くなり、趣味と実益を兼ねた将棋教室を、ずーっと続けています。両親の介護は平成5年に済ませ、5年前からは子供だけの稽古をしています。週2、3回ですが、子供と居るときが一番楽しいです。

親に言えないこと、学習塾のこと等々を話してくれま。その中に1人、1年で初段に

なった子がいて、プロになるんだと頑張っています。

◇ 中平 豊美 (高知市)

大晦日を迎える度に、今年も無事に終わることへの感謝の気持ちから、年齢を重ねることが、昨今では喜びとなりました。ぼけ防止と健康維持を心掛け、時々田舎へも帰り自然とも付き合っています。土の匂いや草木の息吹の中に体を置くと、心が安らぎます。ベランダで育てている幾種類かのハーブの一種のロケットが、今、白い風車にも似た花を咲かせています。

◇ 野本 英夫 (土佐市)

退職直前に倒れ(晴天の霹靂?)で9年を数えます。幸い後遺症もなく、その後は月に2回のペースで通院しながら、何とか無事に過ごしています。

一昨年から、ボケ防止?にと始めたパソコンでは、インターネットや息子達とEメールで写真をやりとりし、退屈はしていません。地域では、体調に自信がないことから、町内会の会計監査と、蓮池の太刀踊りで有名な西宮神社の神社委員だけを手伝っています。何と言っても健康が第一ですね。

◇ 橋田 寛一 (南国市)

先日はお見舞いを頂き、有り難うございました。たいした病気はしてありませんが、傘寿を過ぎますと体の節々が痛くなったり癒えたりで、日毎に衰えて行くのが分かります。

退職して20数年、同期の者も次々と世を去り、寂しい限りです。世間の役にも立たぬ穀潰しですが、老人会のお世話や神社・地区の

清掃等をし、健康維持にとゲートボール等もして日を送っております。

◇ 橋本 重明 (徳島市)

退職と同時に写真クラブを結成し、早13年になります。春、秋には、県内外への撮影旅行を実施し、毎月の例会では、作品の批評を楽しくさせてもらっていますが、「写す楽しみと、人に見てもらう楽しみ」を持って、頑張っています。毎年、会場の確保や設営等、会員と協力しての開催も楽しみです。

また、地区では、婦人カメラ愛好者クラブを2年前に結成し、フォトウォークのお世話に精を出しています。

◇ 林 丞二 (高松市)

2年前に心筋梗塞を患い、それまで勤めていた仕事を辞めました。倒れた当時は、唯一の趣味である山登りが出来なくなると、暗い気持ちになり、退院の時、家の玄関に並んでいた登山靴を見て、これも不要になったかと悲しくなりました。

諦めきれず徐々に歩きだし、3ヵ月後には市主催の源平ウォークに参加しました。疲れましたが歩いて嬉しかったです。今では、4ヵ所の歩く会に入会して、登山ハイキングを楽しんでおり、つくづく健康の有り難さを感じるこの頃です。

◇ 藤原 斌利 (松山市)

この原稿を書くに当たり、ふと我に返ると退職してからいつの間にか、現職期間の半分以上の月日が流れていることを知りました。

この数年、母が寝たきりとなり、妻と共にその看病に明け暮れる毎日でしたが、昨年他

界してからは、待望の旅行をと思いついたものの、今度は自分の足がついていかず、人生ままならぬものと、痛感しております。

会報で、OB諸兄の多方面にわたるご活躍に感心し、ご発展をお祈りする次第です。

◇ 水谷タマエ (国分寺町)

会報を楽しく拝見させて頂いております。退職して14年。孫の世話が大変な時期もありました。今は健康に恵まれ、踊り等の全身運動とボケ防止のための書道を楽しみながら、合間には、温泉にも行っています。

2、3年前に体調を崩し、血糖値が高く、糖尿病を抱えています。会社にお世話になった日々を思い、感謝の気持ちでいっぱいです。健康と長寿を願って、年は取っても若々しく過ごしたいと頑張っています。

◇ 水野 邦彦 (松山市)

悪夢のような日々から解放されて13年。この間、サンパツ屋へも行かない。その日暮らしのフリーターも楽しいもの。忘れた頃、シルバーセンタから仕事が入る。

天気良ければタマ拾い(テニスやっていますなんて言えない)。酒も好きになって、ウイスキーと焼酎には目が無い。ご希望の向きには、私自慢のブレンドシウチュー(好評)の作り方を明かします。電話は、通常非通知になっていますが・・・。

◇ 森 倫 (松山市)

退職して10年。健康一番をモットーに、平凡な日々を送っています。温泉に入って湯で温まると、一日中体が軽く体調が良くなりま

す。また、ドクダミ・ハブ茶も良薬です。

天候の良い日には、畑で大根や芋等、家庭菜園も適度の運動になって、良い汗を流せます。在職中に人から進められて取得した運転免許は、今でも非常に役立ち、感謝しています。また、仕事で覚えたパソコンは、毎日の頭の体操に役立っています。

◇ 森木 幹彦 (高知市)

幹彦の妻、美雪と申します。夫は、平成5年5月14日の夕方、脳梗塞で倒れ、以来5年有余年、言語障害、右半身付随の状態、今なお歩行も叶わず、車椅子での生活を続けています。

元より回復の見込みはなく、昼、月火木金一度お世話になります。土日祭日は、自宅にて療養の日々を送っています。また、水は、ヘルパーさんの入浴介護を受けています。

◇ 山本 英幸 (高松市)

皆様の近況報告を、楽しく感慨深く読ませて頂いております。退職して早13年余、第2の職場も楽しく6年余働かせて頂き、もう来年は古稀。今までの経験、教訓、感動等は、懐かしい思い出と共に心の宝物殿へ。

数年前から、毎月、同好の士によるOB会で杯を交わして旧交を暖めたり、再びクラシックギター、社交ダンスを始めたり、読書や小ドライブ、それに食物の見直し等、趣味と健康とボケ防止に努めています。

◇ 吉川 和子 (重信町)

退職して6年がすぎました。世の中の変化(6ページへ続く)

テルウエルだより

市長表彰を受賞

ボランティアNTT松山OB会

松山市は、本年が市政施行110周年に当たることから、1月29日、その記念式典を行い、各種団体等を「市政功労者」として表彰しましたが、ボランティアNTT松山OB会も選ばれ、市政の発展に尽力した団体として、市長から表彰状を贈られました。

ボランティアNTT松山OB会（会長は村尾守康氏）は、昭和61年に結成され、以来13年クリーン作戦への参加や福祉施設への訪問等多彩な活動を展開しています。

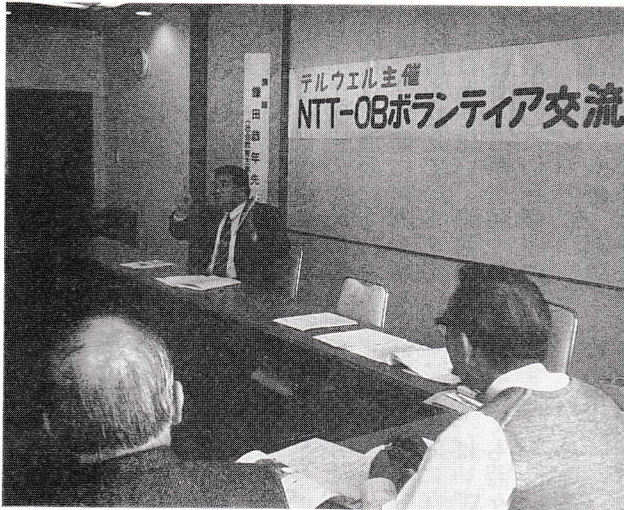
今回、長年にわたるこれらの活動が評価されての表彰ということで、全会員（57名）がこれを励みにして、「自らの生き甲斐向上と地域に役立つ活動」の更なる発展をと、意気込んでいます。

第3回NTTOBボランティア交流会を開催

テルウエル徳島営業所では、第3回「NTTOBボランティア交流会」を、1月20日、三好郡池田町の「かんぼあわ池田」で開催しました。

当日は、徳島県内の4ボランティアグループボランティアNTT徳島OB会（34名）、ボランティアNTT阿南OB会（71名）、ボランティアNTT小松島OB会（31名）、NTT美馬・三好OB会ボランティア部会（52名）から、24名の方々が参加して交流を深めました。

今年度で第3回目、県西池田町での開催と



いうことで、地元的美馬・三好OB会ボランティア部会からは、12名の方に出席して頂き、初めに、徳島県教育委員会生涯学習課の柴田恭年先生から、「生涯学習とボランティア」と題して、お話を伺い、行政の側が、ボランティアにどう対処し、どう取り組んでいるかといった観点から、ボランティア活動に際して考えられる色々なアドバイスを受けました。特に、先行したボランティア活動が、行政を動かしていく大きな力になるとの指摘があり、ボランティア活動をする者にとっては、大きな励ましとなりました。

の悩みなどを中心に、活発な意見交換を行いました。一日の短い研修でしたが、参加者一人ひとりが、ボランティア活動への自信と確信を、掴むことが出来た交流会でした。

平成11年度 退職者文化活動等行事のご案内

愛媛

- ▽NTTOB大学
- 5月21日 NTT事業の動向

- 6月17日 加持感応 NTT愛媛支店長 金山出石寺住職
- 7月15日 伊予聖人「近藤篤山」 愛媛県生涯学習推進講師

- 9月9日 元祿縁乱「新忠臣蔵」 長寿学園専任講師
- 10月14日 健康ライフのために NTT松山病院長
- 11月18日 人は人によりて人となる アイモク会長
- 12月16日 物の見方・ワインと料理の合性 NTT若草メックスセンター所長

- ▽園芸教室
- 5月14日 観葉植物の育て方・見学等
- 11月5日 盆栽の基礎・展示フェアー見学 愛媛県緑化センター技師
- ▽自然環境観察会
- 5月25日 野鳥の観察と健康ウォーク 日本野鳥の会・歩こう会OB指導
- ▽家庭介護教室
- 6月2日 介護保険と在宅介護の実際 介護実習普及センター所長
- ▽陶芸教室
- 6月25日 砥部焼の自由創作 砥部町陶芸創作館々長

▽絵手紙教室

- ・7月2日 絵手紙の練習・指導
- ・12月4日 (同右)

南海放送学苑絵手紙教室講師

▽男の料理教室

- ・7月29日 バラエティに富んだ家庭料理
- 愛媛エプロン料理教室講師

▽パソコン教室

- 初心者パソコン操作、文書作成、インターネット利用等
- ・8月下旬の土・日(2日間)を予定

▽趣味の作品展

- ・9月28日～10月3日 ヨンデンプラザ松山
- (出展と鑑賞に、ご協力下さい)

▽文化財めぐり

- 本四連絡架橋、今治～尾道ルート、日本の国宝と史跡を訪ねて
- ・10月20日 JR松山駅前(AM8時30分出發)
- ▽アウトドア・クッキング教室
- ・11月上旬 秋を味わう旬の料理

▽ボランティア研修交流会

- ・12月上旬 ボランティアの知識や技術の習得と活動経験等情報の交換

◎お問い合わせは、

- テルウェル愛媛支部へ。
- ☎089-934-17294 (担当 田中)

香川

▽文化財めぐり

- ・5月予定 文化財等鑑賞日帰りツアー
- ▽男の料理教室
- 男性が手軽にできる料理教室
- ・5月、8月、11月、2月を予定

▽園芸教室

- 家庭菜園、花卉、植木、盆栽作り等の指導
- ・5月、8月、11月、2月を予定

▽文化講演会

- ・7月予定 著名人による講演
- ▽美観・芸術探訪
- ・10月予定 美観・芸術等鑑賞日帰りツアー
- ▽家庭介護者教室
- 家庭介護の講義と実技指導
- ・10月、2月を予定

▽ゴルフコンペ

- ・11月予定 (ゴルフ場等未定)
- ▽NTTグループOB作品展
- 絵画、書、写真、手芸等作品展
- ・高松市美術館(時期等未定)

◎お問い合わせは、

- テルウェル香川支部へ。
- ☎087-823-0294 (担当 福田)

徳島

▽NTT大学

- ・4月上旬 阿南市(講師等未定)
- ・7月24日 海外ボランティア奮闘談
- 青年海外協力隊員OB
- ・10月23日 びっくり転職騒動談
- 林家竹丸先生

▽グランドゴルフ大会

- ・5月上旬 鮎食川河川敷コート
- ▽文化財・史跡めぐり
- ・5月23日 彦根城、安土城等を見学
- ▽男の料理教室
- ・5月下旬 講師は専門栄養士

▽ゴルフ大会

- ・6月上旬 フォレストゴルフコース
- ▽パソコン教室
- ・6月下旬 パソコンを使用できるよう実習
- ▽囲碁・将棋大会
- ・7月10日 県内NTTOBの大会

▽余技作品展

- NTTOB等の皆様の作品展を開催

・9月17日～21日 あわぎんプラザ

- ▽ゲートボール大会
- ・10月上旬 鮎食川河川敷コート
- ▽文化講演会
- 「NTT記念日」にNTTと共催
- ・10月23日 阿波観光ホテル 林家竹丸先生
- ▽陶芸教室
- ・11月上旬 初歩の陶器作陶の実習
- ▽庭木剪定教室
- ・11月上旬 身近に役立つ庭木の剪定を実習
- ▽家庭介護教室
- ・11月下旬 医師等の健康に関する講演
- ▽NTTOB俳句大会
- ・12月上旬 選者2名を招請

◎お問い合わせは、

- テルウェル徳島支部へ。
- ☎088-1655-0294 (担当 大星)

高知

- ▽OBゴルフコンペ
- ・4月、10月を予定 コンペと懇親会
- ▽陶芸教室
- ・5月予定 陶芸の実習(安芸市)
- ▽文化講演会
- ・5月予定 著名人による講演会(中村市)
- ・12月予定 (同右) (高知市)
- ▽料理教室
- ・遇数月(5回) 男性が料理に挑戦
- ・奇数月(5回) 女性が料理に挑戦
- ▽家庭介護者教室
- ・9月予定 介護保険等と介護実習
- ▽史跡めぐり
- ・10月予定 バスによる日帰り旅行
- ・11月予定 バスによる一泊旅行(広島)

◎お問い合わせは、

- テルウェル高知支部へ。
- ☎0888-1851-2941 (担当 西岡)

サークルだより

縁台クラブ (徳島)

若江太三郎 (徳島市)

「縁台クラブ」は、今を逆上ること20年前の昭和53年9月に、囲碁サークルとして発足しました。名前の縁は、その昔、縁台で涼をとり蚊を追いながら、パチパチと駒や碁石を盤上に叩きつけ、勝負に熱中していた人達を日本のどかな風景の一コマとして愛した先輩方が、「みんなが仲良く」をモットーとして、考えたものです。

会員数は、現在25名で、時を経るごとに減少しており、最近の社会情勢から趣味・趣向が多様化してきていることは否めない事実としても、このところ退職される方の中で、囲碁サークルへ入会される人が、めっきり少なくなっていることを寂しく思います。

会員の高齢化を考えると、囲碁愛好者への呼びかけを通して、会員の増強を図ることが何よりの急務となっています。

縁台クラブの活動の場は、退職者のための「OBサロン・びざん」です。平成3年4月に開設されましたが、お蔭様で大変有効に利用させてもらっています。

「碁敵は、憎さも憎し懐かしい」という川柳の通り、毎月、第2、第4土曜日の月例会では、碁盤を囲んで舌戦を交わしながら、お互いに一喜一憂しています。また、年に4回(新年大会1月、春季大会4月、夏期大会7月、秋期大会10月)開催している大会は、我々会員の昇段、昇級をものにする唯一のチャンスとなつていきます。五局全勝で優勝しなければならぬといった難関ですので、この

ところ昇級や昇段をした人はいませんが、頑張ってもらいたいと思っっています。



ところで、縁台クラブでは会員相互の親睦を図りながら、多くの思い出を残してきましたが、昨年9月、大黒柱でありサークルの大御所ともいえる、田岡治雄六段が天に召されて逝きました。故田岡さんの業績は、語り尽くせない程多くありますが、その一つに、平成8年9月、NTTOB囲碁サークル四国大会

が徳島で開催されたおり、個人戦(無差別クラス)で決勝に進出し、丸岡幸春氏(香川)と熱戦の末、優勝の栄冠に輝いたことが挙げられます。田岡さんにとっては、これが最後の公式戦となりました。

縁台クラブの大黒柱を失ったことは、大変残念なことですが、その志を受け継ぎ、サークルの発展を祈願しながら、故人の冥福をお祈りしたいと思います。

これからも、会員みんなが健康で、何時までも元気で、友好と親睦を図りながら、縁台クラブの充実に努めたいと考えています。

ボランティア活動

NTT阿南OBボランティア部会

平成6年6月、阿南OB会にボランティア部会を結成。会員の特技(民謡や琴の演奏)を生かして、老人施設を訪問し、入所者と一緒に踊ったりして喜ばれています。また、NTTのクリーン作戦に協力して、海水浴場閉鎖後のゴミ拾いを行ったり、札所の「へんろBOX」や参道の清掃活動等も行っています。会の代表者は新川要氏、会員は71名です。

角田佳資さん(高知市)

昭和50年4月、長男がボーイスカウトに入団。父兄として、子供と共に共同募金活動の支援、薬害防止キャンペーンへの協力、街路の清掃等の奉仕活動に参加することになりました。昭和58年3月、長男は高校を卒業して団を離れましたが、連盟の役員等を引き受けていた関係で団に残り、ボーイスカウト活動の支援・協力を、今も全力を傾けています。

俳句

やまもも句会 (高知)

里の子を弾ます楽や花菜祭
寒垢離の念仏呪文たかぶりぬ
金柑の目鼻つけある雪達磨
カトレアを活けたるサロン二月句座
遊びぐせ抜けきらぬまま二月かな
刻告げる山家の鶏や春浅し
指先で押して遊ばす薄氷
左義長の松葉の炎の闇に舞ひ
雑草の中に点なし犬ふぐり
一輛の夜汽車の曲る春の間
灰神楽浴びてどんどの餅を焼く
節分の灯に煌めきて風花す
(二月例会より)

高齡者叙勲
勲五等瑞宝章 大西 正澄様 (高知市)

敬弔

次の方が逝去されました。謹んでご冥福をお祈り致します。

氏名	逝去年月日	幹歳	籍地
内田 春雄様	11・1・10	96	鳴門市
野崎 高茂様	11・1・13	72	高知市
大原 正峯様	11・1・16	82	中村市
武智 義秋様	11・1・19	97	松山市
赤池 正好様	11・1・23	71	松山市
豊島儀三郎様	11・1・28	74	松山市
佐藤 和幸様	11・2・2	69	徳島市
笠井 芳春様	11・2・3	72	徳島市
沖 保様	11・2・4	87	鴨島町
柳川 貞光様	11・2・5	83	室戸市
土井 五一様	11・2・6	89	高松市
谷本 政雄様	11・2・9	88	高松市
古岡亀太郎様	11・2・10	79	久万町
中山 重敏様	11・2・12	92	高知市
久米 昭義様	11・2・15	73	徳島市
宮浦 吉男様	11・2・18	82	上板町
筒井 武徳様	11・2・26	80	松山市
檜垣 加行様	11・3・1	86	松山市
大野 末広様	11・3・4	98	藤沢市
国松小弥太様	11・3・7	88	松山市
菊池 末好様	11・3・11	86	八幡浜市
西浦 善重様	11・3・13	92	石井町
松本 一男様	11・3・18	72	松山市
川北千代子様	11・3・18	56	大内町

物故者叙位叙勲
正七位勲六等瑞宝章 岩田 恭一様

表紙の言葉

アケボノツツジ 西川 晴 (松山市)
土小屋から岩黒山に登った。暫く雑木やクマササをかき分け山路を歩くと、年月を経た大きなアケボノツツジが、ピンク色の花を咲かせていた。
真っ青な空、太陽光線を浴びた曙色の花にほのぼのとした美しさを感じる。その向こうには、石鎚山の凜然とした姿があった。

編集後記

・次号から、本誌の編集は松本良雄氏にお願いすることになりました。ご期待下さい。
・長期にわたりお世話になりました皆様には心からお礼を申し上げます。(愛原)

原稿募集

◇近況短信(200字程度)
◇俳句、川柳、短歌
◇サークルの活動状況等(写真可)
▽切は5月末日です。皆様からの原稿をお待ちしています。

四国電友会会報 第一〇六号
発行 平成一年 四月 一日
編集 電友会四国地方本部
松山市一番町四一三
NTT愛媛支店内
電話 ○八九一九三六一二〇二三
印刷 NTT四国電話帳株式会社



かけてきた相手の電話番号がひとめでわかる

ナンバーディスプレイアダプタ10

販売価格 6,500円(消費税相当額別)

あなたの電話に「便利」をプラス。

お手持ちの電話機に取り付けるだけで、かけてきた方の電話番号をディスプレイに表示します。
また、かけてきた方の電話番号を30件までメモリーできるなど、あなたの電話に便利な機能をプラスする新しいツールです。
[ナンバー・ディスプレイ(発信電話番号表示サービス)をご利用の際は、別途NTTとの契約が必要です。]

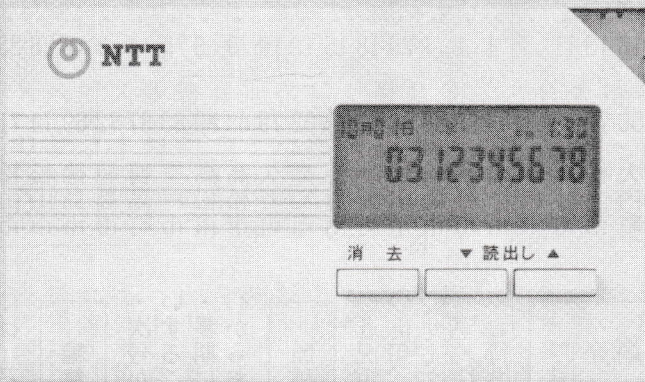
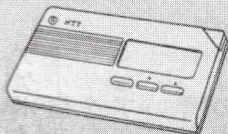
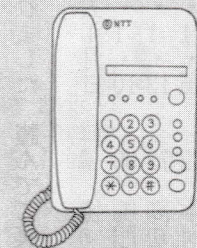
① 発信電話番号表示

電話に出る前にかけてきた方の電話番号がわかるから、心の準備も万全。



② 発信電話番号蓄積

かけてきた方の電話番号を最大30件まで記録できます。たとえば言い残したことがあるのに、電話番号を聞くのを忘れた。そんな時でも大丈夫。



③ 未応答表示ランプ

電話に出なかったときはランプが点滅し、出なかった電話の件数表示や番号確認ができます。留守中にかかってきた電話番号へのかけ直しも簡単。



Dナンバー・ディスプレイ対応